

# 通学路の安全を守る

「飛び出し坊や」を  
知っていますか



飛び出し坊や(とびだしぼうや)とは、児童が道路に飛び出して自動車などと接触する事故を防止する目的で、ドライバーへの注意喚起のために、通学路などに設置されている看板のことです。小学校のスクールゾーン内の特に危険だと思われる個所に設置されています。児童にも、十分注意するよう指導しています。

西小では、平成15年度校外指導委員で絵の得意な方が元になる絵を描いてくれました。公道には設置できないので、地域の方のご協力を得て次の場所に設置しています。

〈現在設置されている場所〉

- 学校脇の歩道から上道に渡る道路際の私有地
- マーマシのはら保育園向かい側崖



## スクールゾーン対策協議会

スクールゾーン(西小を中心として概ね半径500メートルの範囲)内において、登下校時と帰宅後の児童の安全を守るために活動を行っていく会です。メンバーはPTA会長を協議会会長としてPTA・学校・地域の方々によって構成されます。その活動は、年度初め早々に、スクールゾーン対策委員会が校外指導委員会と連携して、通学路の安全点検を行うことから始まります。その後、地区ごとの問題を取りまとめ、危険箇所の写真を撮るなどしてスクールゾーン対策協議会開催に向けて、資料作りを行います。協議会は、6月下旬ころから7月上旬に開催され、区役所の地域振興課・警察・土木事務所・各自治会や町内会の方々や改善要望事項を確認しながら対策を協議します。要望内容は、横断歩道や信号機の設置、通学路の補修など様々ですが、協議会開催後も、必要に応じて行政機関と連絡を取り、交通安全や防犯に関する活動を行っています。また、行政機関だけでなく地域の方々にも協力していただくことで「通学路安全パトロール」の実施や『飛び出し坊や』『平成30年度には大判交通安全ポスター』の設置など、大きな成果が得られています。

これらの活動が認められ、次の表彰を受けました

- 平成16年 7月 「横浜市交通安全功労者」
- 平成18年 9月 「港北区交通安全功労者」
- 平成20年 11月 「神奈川県交通安全功労団体」
- 平成24年 11月 「神奈川県交通安全功労」
- 平成29年 11月 「横浜市交通安全功労者」